

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公表番号】特表 2006-507755 (P2006-507755A)
 【公表日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-009
 【出願番号】特願 2004-555343 (P2004-555343)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)
G 1 1 B 7/007 (2006.01)
G 1 1 B 20/10 (2006.01)
G 1 1 B 20/12 (2006.01)
H 0 4 N 5/85 (2006.01)
H 0 4 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N	5/92		H
G 1 1 B	7/007		
G 1 1 B	20/10	3 1 1	
G 1 1 B	20/12		
G 1 1 B	20/12	1 0 3	
H 0 4 N	5/85		Z
H 0 4 N	7/13		Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 4 日 (2006.10.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ベース層データとエンハンスメント層データの各々について信号データを複数のブロック変換係数として符号化するエンコーダであって、

元の高精細度信号データ・シーケンスを前記ベース層データと前記エンハンスメント層データに分解する 2 層分解ユニットと、

前記分解ユニットに結合され、前記ベース層データを、標準精細度データ・シーケンスを具体化するベース層ビットストリームとして符号化する標準精細度エンコーダと、

前記分解ユニットと前記標準精細度エンコーダに結合され、高精細度データと標準精細度データの差のみを、高精細度データ・シーケンスを具体化するベース層ピクチャ・ユーザ・データとして符号化する高精細度エンコーダと、

から成る、前記エンコーダ。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのセグメントについて、前記エンハンスメント層データが、前記ベース層データとインタリーブされる、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 3】

約 9 . 8 M b p s 以上の帯域幅を有する各セグメントについて、前記エンハンスメント層データが、前記ベース層データとインタリーブされる、請求項 2 記載のエンコーダ。

【請求項 4】

前記分解ユニットが、ダウンサンプリング・ユニットから成る、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 5】

前記信号データが、ビデオ画素データから成る、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 6】

前記標準精細度エンコーダが、MPEG 2 標準に適合する、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 7】

前記高精細度エンコーダが、MPEG 4 __AVC 標準に適合する、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 8】

前記標準精細度エンコーダと通信する標準精細度フレーム・バッファを更に含み、再構成されたベース層データを維持する、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 9】

前記高精細度エンコーダと通信する高精細度フレーム・バッファを更に含み、再構成されたエンハンスメント層データを維持する、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 10】

前記標準精細度エンコーダと前記高精細度エンコーダとの間に結合される内挿ユニットを更に含み、標準精細度データを高精細度データに対応するフォーマットの中に内挿する、請求項 1 記載のエンコーダ。

【請求項 11】

ベース層データとエンハンスメント層データの各々について、信号データを複数のブロック変換係数として符号化するエンコーダであって、

元の高精細度信号データ・シーケンスを受信する受信手段と、

前記元の高精細度信号データ・シーケンスを、前記ベース層データと前記エンハンスメント層データに分解する分解手段と、

標準精細度データ・シーケンスを具体化するベース層ビットストリームとして、前記ベース層データを符号化するベース層符号化手段と、

高精細度データ・シーケンスを具体化するピクチャ・ユーザ・データとして、高精細度データと標準精細度データの差のみを符号化するエンハンスメント層符号化手段と、

から成る、前記エンコーダ。

【請求項 12】

ベース層データとエンハンスメント層データの各々について、信号データを複数のブロック変換係数として符号化する方法であって、

元の高精細度信号データ・シーケンスを受信するステップと、

前記元の高精細度信号データ・シーケンスを、前記ベース層データと前記エンハンスメント層データに分解するステップと、

標準精細度データ・シーケンスを具体化するベース層ビットストリームとして前記ベース層データを符号化するステップと、

高精細度データ・シーケンスを具体化するピクチャ・ユーザ・データとして、高精細度データと標準精細度データの差のみを符号化するステップと、

から成る、前記符号化する方法。

【請求項 13】

ベース層データとエンハンスメント層データの各々について複数のブロック変換係数から成る信号データで符号化されるデジタル・ビデオディスクであって、

前記ブロック変換係数は、元の高精細度信号データ・シーケンスを集合的に表示し、

前記デジタル・ビデオディスクのベース層は、標準精細度データ・シーケンスを具体化する係数を有し、

前記デジタル・ビデオディスクのエンハンスメント層は、高精細度データ・シーケンスと標準精細度データ・シーケンスとの差をピクチャ・ユーザ・データとして具体化する

係数を有する、

前記デジタル・ビデオディスク。

【請求項 14】

前記ベース層データが、赤色レーザ・ビデオディスク・プレーヤで読み出される、請求項 13 記載のデジタル・ビデオディスク。

【請求項 15】

前記エンハンスメント層データが、前記赤色レーザ・ビデオディスク・プレーヤで読み出される、請求項 14 記載のデジタル・ビデオディスク。

【請求項 16】

前記ベース層データが、MPEG 2 エンコーダで符号化される、請求項 13 記載のデジタル・ビデオディスク。

【請求項 17】

前記エンハンスメント層データが、MPEG 4 __AVC エンコーダで符号化される、請求項 16 記載のデジタル・ビデオディスク。

【請求項 18】

少なくとも 1 つのセグメントについて、前記エンハンスメント層データが、前記ベース層データとインタリーブされる、請求項 13 記載のデジタル・ビデオディスク。

【請求項 19】

約 9.8 Mbps 以上の帯域幅を有する各セグメントについて、前記エンハンスメント層データが、前記ベース層データとインタリーブされる、請求項 18 記載のデジタル・ビデオディスク。